

第 11 回 JCHOりつりん病院地域協議会 議事録

開催日 令和 3 年 10 月 28 日(木) 15 時 00 分～16 時 00 分

開催場所 JCHOりつりん病院 本館 3 階会議室

出席者 【院外】

虫本光徳(医師会)・横井徹(医療機関)・宝山秀逸(利用者/患者)

【院内】

大森院長・小西副院長・因藤副院長・田村副院長・山崎事務長
美濃看護部長・阿部薬剤部長・田村事務長補佐(総務企画)

欠席者 高本牧男(行政/保健所)

議題 1. あいさつ・メンバー紹介
2. 概況報告
3. 患者動向・事業概況について
4. 地域住民への新型コロナワクチン接種の取り組みについて

概要

1. あいさつ・メンバー紹介 (大森院長)

●外部委員の交代

行政(保健所) 多田一夫 → 行政(保健所) 高本 牧男

●院内委員の追加・交代

(追加) 副院長 田村 知雄

(交代) 事務長補佐(総務) 川畑 晃司 → 事務長補佐(総務) 田村 信明

(臨時) 薬剤部長 阿部 武由

2. 概況報告 (大森院長)

●令和 3 年度の体制(執行部、医師、看護師、コメディカル、事務、その他)

●病床構成(変更なし)

コロナ重点相当病床 6 床→国からの法律に基づき増床指示 10 床になる予定

●COVID-19 関連の取り組み

陽性患者受入れ 6 床確保(延べ患者数 321 人)：ファミリー用大部屋を活用

陽性患者トリアージ(今年度 延べ 345 名)：全当直医師で協力して受入れ

帰国者・接触者・発熱外来(今年度 算定件数 945 件)

ワクチン接種(延べ 10,405 回実施)

抗体カクテル療法(4 名実施)

医療機器(補助金)・寄付の受入れ

疑い患者・陽性患者受け入れ病棟整備等：空床補償 4 月～6 月分 136,370 千円

●経営状況

詳細説明は議題 3 (6/22 本部の経営改善指導を受ける)

→9 月決算 空床補償除外後でも 3,311 千円累積黒字まで回復

●機器・設備の整備について(予定)

画像サーバー・冷房冷却塔・血管撮影装置(本部検討中)の更新予定

院内環境設備による患者サービス向上を目指す

●課題

病院前私有地(賃貸期限切れ)：購入不可確定→駐車台数減(マンション建設予定)

医師確保：内科系医師不足(香川大学と派遣について交渉中)

3. 患者動向・事業概況について (山崎事務長)

●令和 3 年度 4～9 月入院患者数減少

コロナによる受診控え、常勤医師の減少

●令和 3 年度 4～9 月外来患者数減少(昨年度より回復傾向)

コロナによる受診控え・外来リハビリ中止、常勤医師の減少

●医業収益推移

対前年度で増加(+43,738 千円)。

入院(手術件数の増加等に伴う 1 人 1 日当診療点数の増加)

外来(コロナ陽性患者トリアージによる収益増加)

●医業費用推移

対前年度で減少(-54,551 千円)

給与費減(職員数減、賞与支給月数減)、医薬品費減(後発医薬品への置換、患者数減)、委託費減

●総収支

4～5 月は赤字スタートであったが、赤字幅は昨年度と比べ減少、6～8 月は新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金なしで黒字となっています。9 月単月は患者数減で赤字となっていますが 9 月までの累積では昨年度と比べ好転しています。
※8 月の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金 136,370 千円の交付により、9 月までの累計では 139,681 千円の黒字となっています。(空床補償なしでも 3,311 千円の黒字)

4. 地域住民への新型コロナワクチン接種の取り組みについて（阿部薬剤部長）

●当院の準備体制

新型コロナワクチン接種の事前準備

- ・会場設営、接種のシミュレーション、接種前後の事務的処理の確認、ワクチンに関する知識の習得
- ・院内医療従事スタッフへの接種

●実際の地域住民接種状況

- ・当院の予約受付部門に1週間で1,000人を超える予約や問い合わせ電話が殺到
- ・接種人数 5月 約700人
6月 約1,200人：土曜日接種開始
7月 約1,400人
8月 約1,900人
9月 約1,900人

※地域住民に迅速にワクチン接種をしなくてはならないという使命を感じています。
今後も3回目接種を含め全力でワクチン接種に取り組んでまいりたいと考えています。

（外部委員）ワクチン接種に係るトラブル、副反応に対するボスミンを打った症例は何例、
また、コロナ陽性者となったケースはありますか。

（内部委員）ボスミンを打った症例は無いです。気分が悪くなった方はいました。

（外部委員）中央に報告した症例はありましたか。

（内部委員）3例ほど報告しました。

（外部委員）私のところでは、痺れる、微熱が続く、下痢症状など訴えが多く、個人なので
全て私が聞いて対応していて、りつりん病院さんは延べ10,000回も打たれて
大変でしょう。

（内部委員）当院でもそういった問い合わせは結構あります。

（外部委員）問い合わせが多いので、副反応については、問診時にきちっと説明するように
しています。

4. その他意見等

(外部委員) りつりん病院に入院していた患者さんが私の病院にも時々、来られてて、りつりん病院は、医師と看護師の連携が取れていない。「医師が言う退院日と看護師が言う退院日が違う」を言われていました。

(内部委員) それであれば、思い当たります。本部からの指示もあって稼働率を上げる為、退院許可は医師が決め、退院日は病棟師長が決めるルールとなっています。そのルールがきちんと運用できてないという事ですね。再度、徹底するようにします。

(外部委員) もう一点は、私のところに来た患者さんですが、私のところで診きれない患者さんを急な依頼でもなんとか緊急で診ていたただいて助かりました。ありがとうございました。

(内部委員) 患者さんが減っていますので、本部からの指示もありまして、開業医さんへ患者さんを送ってもらうようお願いしているところですが、お願いしている以上、診れない事が無いよう気を引き締めて対応したいと思っています。

(外部委員) コロナ病床 10 床に増床の話ですが、内科医も少ない中、運用するのが大変だろうと思います。

(内部委員) 今は、内科医だけで対応している訳ではなく、内科、外科、脳外科、小児科医師が協力して対応に当たっていますが、10 床となると対応医師、病棟運営の調整等、厳しい状況となります。

今後は、コロナの波が過ぎたときに患者さんが減ったところをどう増やすかが多くの病院の課題になると思います。

本日は、貴重な意見ありがとうございました。